

# Letter from Human Culture Communication

## ○ナレズシあれこれ

### ○フェアトレードショップ

「ねこのひたい」からお知らせ

### ○編集後記に見せかけて国内旅行編<<前篇>>

#### <ねこのひたい出店のお知らせ>

★7月17日(土) 大津「百町市」出店します。会場、天孫神社(大津駅から徒歩5

分) 10:00~15:00

毎回楽しいお店の出店が多い市です。ほっこりした休日をお過ごしに来てくださいね。

★「夏から秋、交流館のイベントが満載です。別紙をどうぞ」

#### <<ナレズシあれこれ>>

滋賀県の特産品といえませんか?と尋ねられたら皆さんなんと答えるでしょうか?

信楽焼の狸さん。はたまた永源寺こんにやく。いえいえ、忘れてはいけないのが、我々が「フナズシ」です!

フナズシといえば、ニオイを思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。ニオイが独特で食べれない、という方も多いのでは…しかし、一度食べたら“やみつき”になるというフナズシのことが気になりだしたこの頃、ついにフナズシのエキスパート鈴木五一さんにお話を伺いました。

鈴木さんは滋賀県庁の職員さんの有志が集まってできた「環境と食の研究会」において、フナズシの調査研究の活動をされています。この「環境と食の研究会」は琵琶湖に生息するフナ(ここでのフナはニゴロブナ)から作られたフナズシを通して、環境問題が見えてくるのではないかという背景から誕生しました。そこから発生して日本各地のナレズシ、はたまた東南アジアから東アジアのナレズシまで広く調査をされています。

フナズシのことをこれっぽちも知らない私なので、鈴木さんの話を聞くと本当にたくさんの種類のナレズシがあること、それにナレズシの深さに気づきます。まず日本のナレズシですが、サバのナレズシ・アユのナレズシ……とフナ以外にもナレズシがあります。一番びっくりしたのがサンマのナレズシ!!どんな味がするのでしょうか……とても気になります。もともと日本のナレズシは魚の保存として作られ、税金や献上品として重宝されていたようです。

魚を保存するために作られたナレズシですが、とれたての新鮮な魚をそのまま放置していたら、腐って「腐敗」してしまいます。そうならないように、塩で漬け込み雑菌を排除し、米を加えて発酵させるそうです。魚を発酵させることにより保存を可能にし、またそれだけではなく、貴重なたんぱく質をアミノ酸の旨み成分に変え、よりおいしく変化させる。こんな知恵が昔からあったなんてちょっと驚きます。

日本のナレズシは歴史が深く、発酵させる知恵がすごいのは私でも十分理解が出来ましたが、さらに上に行くのが東南アジア・南アジアです。スシの文化は日本だけだと思っていましたが、実はナレズシは東南アジアから発生した文化で、日本に伝わってナレズシから、早スシ(生鮮魚介を用いたスシ)へと変化したものだったのです。こちらのナレズシも保存食として重宝されていたようです。鈴木さんにナレズシの写真を見せてもらいましたが、日本のナレズシとのギャップはすごいです。どう違うのかと言われると回答に窮するのですが、とにかく日本のナレズシはおいしそうにみえます、とだけお答えします。東南アジアのナレズシの発酵はとても早く、4~5日だったり一週間であったりと暑い国ならではのようです。これ以上の日数になると発酵しすぎて、塩漬けや生醤油になってしまうそうです。



私たちが「スシ」という言葉を聞いて、一番先に思い浮かぶのは「早ズシ」の方でしょう。「他には？」と尋ねられても「うーん。チラズシ？箱ズシ？」と答えるかもしれません。琵琶湖が近くにある、そこで取れるフナが地域でフナズシとして売られているにも関わらず、です。

しかし、フナズシが一番に出てこない理由もあるのです。昔から親しまれてきたフナズシですが、琵琶湖の水の環境問題などでフナの産卵地であるヨシが減少したことや、外来魚が増えたことでフナズシの原料であるフナが減少したのです。それが、フナズシが手の届かない存在になってしまったのではないのでしょうか。私にはとっても高いお値段で手が出せません。逆に早ズシはスーパーでも買えるし、ぐるぐる回したテーブルに一皿ずつ乗って、席まで来てくれますよね。そんなことから身近な存在になっているのです。

フナズシを通して見えてくるものは、歴史や発酵文化だけではありません。琵琶湖の環境問題も色濃く映し出しているのです。また、琵琶湖における資源管理の問題も見え隠れするのです。私には「資源管理」って聞きなれない言葉で、すぐには理解できなかったんですが、琵琶湖という自然に生きるフナたちを、みんなが食べたいからといって好き勝手にとったら、競争してすぐになくなっちゃう。そうならないように、自然が生み出した貴重な資源を計画的に管理しなきゃ駄目ってことなんですよ。

鈴木さんの話を聞いて、考えることばかりの今回の「ナレズシあれこれ」です。そしてついに決心したことが一つ。フナズシを食べてみることにしました。そういえば私、味を覚えるほど食べたことなかったと思ひまして……さて、そのお味は？《次回の編集後記で覚えていたら書きます》

<野中由似>

<フェアトレードショップ「ねこのひたい」からお知らせ>

★WEB SHOP、OPENしました！

長らくお待たせしました！！遠方の方もお気軽に買い物ができる

WEB SHOPがついにOPENしました♪ぜひぜひ皆様ご利用ください！

WEB SHOP「ねこのひたい」 <http://www.shop-online.jp/nekohita/>

ねこのひたいブログ <http://yuyukannekonohitai.shiga-saku.net/>

★店内レイアウト、大幅に改装OPENしました♪スッキリして、より見やすくなったと好評です。新しくなったお店にぜひ遊びに来てくださいね

★「フィリピンネグロス島の子供たち写真展」開催します

「ネグロス島支援の会」の活動や、子供たちの笑顔写真展。期間中フィリピンのフェアトレードや民芸品の特別販売も（数量限定）



改装した店内。みなさん遊びにきてくださいね。

編集後記と見せかけて国内旅行編《前篇》

ちょっと前になりますが、去年の夏に私は青春をしておりました。そうです。夏は青春の季節なのです！

みなさんは幾つになっても「青春」という言葉を使っていいことをご存じですか。それは青春18きっぷのことを指します。私は去年青春をしたくて、ついに初めて青春18きっぷを購入したのです。一日新幹線や特急以外のJRの電車に乗り放題！！どんな遠いところまでも安値で行けるお得な切符でございます。（たしかそんな切符）

そんなん、行かなきゃだめでしょということ、私は島根と鳥取に行ったのです。そして、私の大好きな一人旅行でございます。私の行動する時期は夏限定なので、災害が多い時期でもあるんです。確か去年の夏は大雨がひどかったから電車がそりゃあもう遅れまくっていたんです。本来なら夕方、日没前に着くはずが、だんだんと予定時刻が遅れていく、私の不安はつもるばかり……なぜこんな時間を気にするのかというと、最初の目的地、島根のとある美術館では閉館時間が日没までなのです。なんてロマンチックっ！！私はロマンチックと共に生きている様な人間なので、それに魅かれて島根を選んだ経緯もあります。

このままではあこがれの美術館には到着できない！！我慢の緒が切れまして、青春18きっぷを持っているにも関わらず禁断の特急に乗っちゃいました……ああ、私のあほ……こんな風に始まった去年の私の旅は無事終わったのでしょうか。また次回。

<文と絵のなかゆに>